3 広島都市圏におけるバス交通の現状

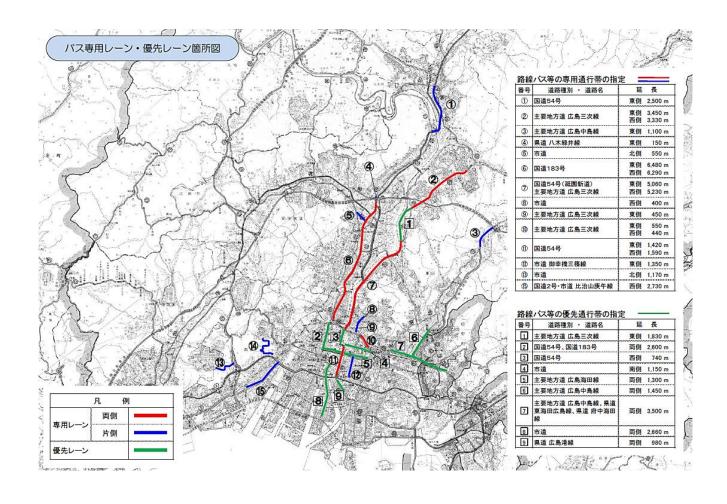
(1) 都心と拠点地区を連携強化する公共交通ネットワークの形成

基幹交通の役割を担っているバスについては、高速道路利用、バス専用レーン、急行便の導入などにより、一定の定時性、速達性は確保されているものの、路線によっては、渋滞による影響を受けるとともに、急行便の便数が少なく、他の公共交通利用に比べ割高となっている。

高陽方面から都心への所要時間	一般バス (下深川駅前-紙屋町 (広島バスセンター)) [3本/ピーク1時間]	急行バス(※1) (下深川駅前-紙屋町 (広島バスセンター)) [3本/ピーク1時間]	J R 芸備線 (下深川駅-紙屋町) [4本/ピーク 1 時間]
	3 6 分	30分	23分+3分+14分=40分(※2)
高陽方面からの	バス (急行バス含む)		JR芸備線
運賃(下深川駅前 →紙屋町) 4 4 0 円		230円+150円=380円(※2)	

- ※1 下深川駅前⇒紙屋町 (広島バスセンター) の急行バスの便数は 4便/日
- ※2 広島駅・紙屋町間は路面電車利用(乗り換え時間も加算)

美鈴モール⇒ 広島バスセンター	朝ピーク	オフピーク	所要時間の差
所要時間	3 1 分	25分	6分



(2) デルタ周辺の交通拠点から都心へのアクセス強化

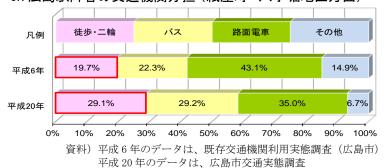
比較的距離が長く、バスの柔軟性を活かし、急行便を導入している「西広島駅⇔都心」の利用 率が高い。

一方で、「横川駅・広島駅⇔都心」は、路面電車の利用が多い状況。

広島駅においては、降車バースが広場になく乗継に時間を要するなど、交通拠点によっては、 乗継に不便な状況となっている。交通拠点における交通機関相互の乗継利便性を確保する必要が ある。

・ JR 広島駅から紙屋町・八丁堀地区を目的地とするトリップは、平成6年と比較すると、徒歩・二輪が増加している。

JR 広島駅降客の交通機関分担 (紙屋町・八丁堀地区方面)

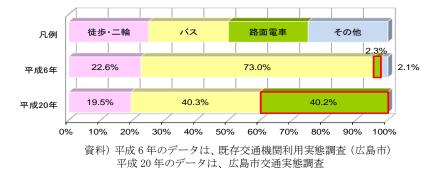


JR 広島駅⇒紙屋町バス・路面電車比較

交通機関	運賃	所要時間
バス	150円	7分
路面電車	150円	14分

・ JR 横川駅では、平成 6 年と比較すると、路面電車利用が約 38 ポイント増加しており、都心便の運行などの効果であると考えられる。

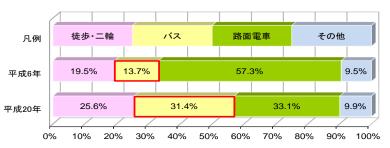
JR 横川駅降客の交通機関分担(紙屋町・八丁堀地区方面) JR 横川駅⇒紙屋町(広島バスセンター)バス・路面電車比較



交通機関	運賃	所要時間
バス	190円・150円	6分
路面電車	150円	13分

・ JR 西広島駅では、平成 6 年と比較すると、バス利用が約 18 ポイント増加しており、通勤用急行便の運行などの効果であると考えられる。[図表-18]

JR 西広島駅降客の交通機関分担(紙屋町・八丁堀地区方面)



資料) 平成6年のデータは、既存交通機関利用実態調査 (広島市) 平成20年のデータは、広島市交通実態調査

JR 西広島駅⇒市役所バス・路面電車比較

交通機関	運賃	所要時間
バス	210円	14分 (急行)
路面電車	150円	26分